

浜松市でのメガソーラー発電所の建設について

ソフトバンクグループで自然エネルギー事業などを行う SB エナジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：三輪 茂基、以下「SB エナジー（エスピー エナジー）」）は、浜松市において大規模太陽光発電所「ソフトバンク浜松協和ソーラーパーク」の建設を決定しました。

今回、SB エナジーは浜松市西区にある約 1 万 2,000 m²（約 1.2 ha）の私有地で、出力規模が約 1,000kW（約 1.0MW）、年間予想発電量が一般家庭約 394 世帯分の年間電力消費量に相当する約 142 万 kWh / 年の発電を行うメガソーラー発電所を建設し、2018 年 8 月中の運転開始を目指します。また、「ソフトバンク浜松協和ソーラーパーク」の建設に当たって、設計、調達および工事管理業務は、SB エナジーが自社で行います。

SB エナジーは、今後も自然エネルギーの普及・拡大を目指し、メガソーラーをはじめとする自然エネルギー発電所の建設と運営を推進していきます。

「ソフトバンク浜松協和ソーラーパーク」の概要

所在地	浜松市西区協和町字東前 661-2 他
敷地面積	約 1 万 2,000 m ² （約 1.2 ha）
出力規模（太陽電池容量）	約 1,000kW（約 1.0MW）
年間予想発電量（初年度）	約 142 万 kWh / 年 一般家庭約 394 世帯分の年間電力消費量に相当 1 世帯当たり 3,600kWh / 年で算出
運転開始時期	2018 年 8 月中（予定）